

- ・ 早稲田大学演劇博物館 演劇映像学連携研究拠点主催イベントのお知らせ

演劇博物館演劇映像学連携研究拠点では、共同研究「演劇の理論と実践、その現代における応用I メイエルホリドの場合」の企画により、下記2つの催しを開催いたします。ご参加・ご来場をお待ちしております。（ワークショップは申込が必要です）

## ピオメハニカ・ワークショップ　メイエルホリドの孫弟子 アレクセイ・レヴィンスキー直伝(ロシア語通訳付き 参加費無料)

ピオメハニカは20世紀ロシアの演劇人フセヴォロド・メイエルホリドが考案した俳優訓練法です。1938年にメイエルホリド劇場が閉鎖されたのち、ピオメハニカは演劇の表舞台から姿を消します。このメソッドを守りぬいたのがメイエルホリド劇場出身の俳優、ニコライ・クストフでした。1930年代から劇場でピオメハニカの指導を行っていたクストフは、のちに国立演劇大学GITIS(現在のロシア演劇アカデミー-RAMT)で俳優の身体訓練を教えるようになります。今回招聘するアレクセイ・レヴィンスキーは1970年代にGITISでクストフからピオメハニカを学び、俳優・演出家として自ら演劇活動の中で実践的に用いてゆくのみならず、国内外でピオメハニカのワークショップを行っています。なお、レヴィンスキーによる日本でのワークショップは今回が初めてです。

日時：2010年3月1日（月）～3月5日（金）5回連続

3月1・2・3・5日 14：00～16：30

3月4日 12：30～15：00

場所：早稲田大学 演劇映像実習室(戸山キャンパス36号館)

参加資格：演劇や俳優訓練法に興味のある方で、5回とも参加可能な方  
(ワークショップ後、研究のためのアンケートにご協力いただきます)

定員：10名

応募受付：2010年1月25日（月）～1月31日（日）の間に、氏名 年齢 性別 職業 ワorkshopを受けたいと思った理由 連絡先電話番号 メールアドレス をご記入の上、下記応募先にメールでお申し込みください。募集人数が定員を上回った場合、選考をさせていただくことがございます。応募者の皆様には、遅くとも2月5日までに参加の可否に関するご連絡をさせていただきます。

応募先：uedayoko\_yaoni.waseda.jp ( を@に変えてください)

主催：早稲田大学演劇博物館 演劇映像学連携研究拠点（共同研究「演劇の理論と実践、その現代における応用I メイエルホリドの場合」）

ワークショップは安全の配慮のもと開催いたしますが、万が一のワークショップ中のけが、事故、盗難などに関しては、主催者は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## シンポジウム&デモンストレーション「ピオメハニカの現在」

メイエルホリドの俳優訓練法ピオメハニカが今日の世界のパフォーマンス・アーツにおいて持っている意味と可能性を探ります。

日時：2010年3月4日（木）16：00～19：00（15：30開場）

場所：早稲田大学小野記念講堂（早稲田キャンパス27号館）

参加者：アレクセイ・レヴィンスキー（演出家・俳優）× 鴻英良（演劇批評家）× 巻上公一（音楽家・俳優）

司会：藤井慎太郎（早稲田大学准教授）

主催：早稲田大学演劇博物館 演劇映像学連携研究拠点（共同研究「演劇の理論と実践、その現代における応用I メイエルホリドの場合」）

予約不要・入場無料

なお、上記イベントの関連企画として、早稲田大学演劇博物館にて下記2つの催しが開催されます。ぜひ、併せて足をお運びください。

## 企画展示「メイエルホリドの演劇と生涯 没後70年・復権55年」

20世紀のもっとも偉大な演劇人のひとり、フセヴォロド・メイエルホリドをテーマとする展示です。『仮面舞踏会』『堂々たるコキョ』『検察官』他の多くの重要な作品群、結局建設されなかったメイエルホリド劇場、残された彼自身の肖像という三つのアプローチから、メイエルホリドの演劇と生涯を探ります。

日時：3月1日（月）～4月28日（水）10：00～17：00、火・金のみ19：00まで

（会期中の休館日 3月21・22日）

場所：早稲田大学演劇博物館 企画展示室I（2階）

入場無料

## 演劇講座「メイエルホリドとわたしたち 映画『白鷺』を見ながら」

第一部 メイエルホリド出演映画『白鷺』上映（プロタザーノフ監督、1928年、無声映画、字幕つき、67分）

第二部 ディスカッション「メイエルホリドと同時代～現代の先端的芸術」

鴻英良（演劇批評家）× 塚原史（早稲田大学教授）× 豊島重之（モレキュラーシアター演出家・ICANOFキュレーター）

日時：3月12日（金） 15：00～18：00（14：30開場）

場所：早稲田大学小野記念講堂（早稲田キャンパス27号館）

予約不要・入場無料

<問い合わせ先>

早稲田大学演劇博物館 助手 上田洋子

03-5286-1830 uedayoko aoni.waseda.jp（ を@に変えてください）